

科目名 (英)	オリエンテーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認 【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る			9			
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる 【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施			13			
6							
7							
8							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ベルリンピック	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～4回 【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定 【到達目標】 クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める 小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点			9			
2				10			
3				11			
4				12			
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する 【到達目標】 各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。 【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価 60点			13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロフェッショナル講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	前期 1組:水(2限)・2組水(1限)・3組水(4限) 4組:水(3限)・5組木(3限)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようになる ※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気づき、相手に的確に伝えることが出来るようになる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 自己紹介・前期スケジュール確認・クラス役割決め・学校ルール確認 【到達目標】 ・新クラスの学生の顔と名前を覚え、自己アピールが出来るようになる ・2年生としての自覚をもち、自分でスケジュールリングが出来るようになる			9	【授業単元】 面接対策②グループワーク(グループ内模擬面接) 【到達目標】 ・グループ内で模擬面接を行い、全員が面接官の視点からも印象について考えることができるようになる ・グループ内で撮影を行い、自分自身の長所・癖に気づき、より良くプレゼンテーションを改善することが出来る		
2	【授業単元】 就職活動ルール確認 【到達目標】 ・就職活動のルールについて把握が出来、ルールが守れるようになる			10	【授業単元】 小テスト(5点満点) 面接対策③模擬面接 【到達目標】 ・前回は活かし、面接官により良く自分をアピールすることが出来る		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) 企業対応の仕方(電話・メール・言葉遣い) 【到達目標】 ・企業へのメール・電話の対応の仕方を理解できるようになる ・書き言葉、話し言葉についての知識を得て、言葉遣いに気をつけて話が出来ようになる			11	【授業単元】 面接対策④模擬面接の振り返り 敬語について① 【到達目標】 ・教員からのフィードバックを受け、更に良いプレゼンテーションに改善することが出来る ・敬語についての知識をつけ、正しい日本語でのアピールが出来ようになる		
4	【授業単元】 履歴書対策① 書き方復習 【到達目標】 ・一年次の復習も兼ね、履歴書の学歴・資格欄を間違いなく書くことが出来る ・PREP法について理解を深め、文章を考えてつくる事が出来る			12	【授業単元】 敬語について② 【到達目標】 ・敬語についての知識をつけ、正しい日本語でのアピールが出来ようになる		
5	【授業単元】 履歴書対策② グループワーク(志望動機) 【到達目標】 ・一人ひとりが希望する企業について考え、想いをグループ内で発表することが出来る ・周りの発表を聞き、意見を出し合い、相手により良く伝えるにはどうしたらいいかを一人ひとりが考えることが出来る			13	【授業単元】 小テスト(5点満点) 内定礼状の書き方・内定後のマナーについて(SNSなど) 【到達目標】 ・内定礼状の書き方についての知識を得て、内定先に礼状を送ることが出来る ・SNSのマナーについて再度理解を得て、マナーを心得たSNS発信を心掛けることが出来るようになる		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) 履歴書対策③ 志望動機(まとめ)・履歴書完成 【到達目標】 ・前回のグループワークを踏まえ、自分の志望動機をより良くまとめることが出来る ・自己アピールも含めて記入し、履歴書を完成することが出来る			14	【授業単元】 1～13回目までの授業の振り返り授業 【到達目標】 ・1～13回目までの授業の振り返りを行い、理解をより高めることができる		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 学校ルール・企業宛の連絡の仕方・履歴書の書き方など今までの授業内容についての理解を、ペーパーテストにおこすことが出来る			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 ・1～14回目までの授業の総復習とし、今までのマナー・一般常識についての理解をペーパーテストにおこすことが出来る。		
8	【授業単元】 面接対策①(入室から退出のマナー確認) 【到達目標】 ・映像を用いて、第一印象についての大切さを知り、イメージすることが出来る。 ・面接時の入室から退室までのマナーを覚えることが出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロフェッショナル講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人として必要なスキル・知識を教え、実践的に活かせるマインド育成を行う (※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識について指導し、即戦力として企業に求められる人材育成授業を行う)							
【授業を通じての到達目標】							
・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる ・ビジネスマナーを学び、新社会人としての仕事をイメージすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 後期スケジュール確認・プロ道目的確認 【到達目標】 ・2年生としての自覚をもち、自分でスケジュールリングが出来るようになる			9	【授業単元】 ビジネスマナー①《言葉遣い①》 【到達目標】 ・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることが出来る		
2	【授業単元】 敬語の復習 【到達目標】 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語を理解し、正しい日本語で話すことが出来る			10	【授業単元】 ビジネスマナー②《ルール》 【到達目標】 ・報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることが出来る		
3	【授業単元】 マナー①《第一印象・色について》 小テスト5点 【到達目標】 ・第一印象について学び、お客様・上司と話す際のポイントを理解し、実践することが出来る			11	【授業単元】 《一般常識》 【到達目標】 ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る		
4	【授業単元】 マナー②《美しい話し方・会話術》 【到達目標】 ・接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することが出来る			12	【授業単元】 ビジネスマナー③《言葉遣い②》 小テスト5点 【到達目標】 ・より細かく、丁寧な言葉遣いについて学び、どんな相手にも失礼なく的確な対応が出来るようになる		
5	【授業単元】 《カラーについて》 【到達目標】 ・色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れることが出来る			13	【授業単元】 マナー教育《税金・生計プラン》 小テスト5点 【到達目標】 ・社会人として支払うべき税金や生計プランのたて方を考え、お金の管理について考えることが出来る		
6	【授業単元】 マナー③《コミュニケーション》 小テスト5点 【到達目標】 ・自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることが出来る			14	【授業単元】 1～13回目までの授業の振り返り授業 【到達目標】 ・1～13回目までの授業の振り返りを行い、理解をより高めることが出来る		
7	【授業単元】 敬語・印象・態度などのマナー 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 敬語・印象・態度などのマナーについての今までの授業内容についての理解を、ペーパーテストにおこすことが出来る			15	【授業単元】 ビジネスマナー・一般常識 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 ・1～14回目までの授業の総復習とし、今までのマナー・一般常識についての理解をペーパーテストにおこすことが出来る		
8	【授業単元】 コミュニケーションについて 【到達目標】 コミュニケーション知識をつけ、相手とのより良いコミュニケーションを考え、実践することが出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	就職セミナー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菊地 今井 及川 本間
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 曜日・時間 金1限・4限
就職活動の進め方を知り、美容業界の雇用状況や求人情報を収集する仕方を学ぶことができる 就職面接で自己をアピールできる話し方や受け答えができるようになる							
【授業を通じての到達目標】 スムーズに志望する分野に就職活動ができるよう、業界を理解することができる 自己分析することで自信を持って堂々と自己アピールをすることができ、さまざまな分野に合わせた志望動機や自己PRが話せるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 面談① 【到達目標】 クラス替え後の相互理解を深め、意見や方向性をすり合せし、コミュニケーションをとることができる			9	【授業単元】 業界研究③（サロン） 振り返り 【到達目標】 業界研究②での情報をまとめ、 サロンでの美容師の将来像を理解することができる 美容師からヘアメイクへの流れを理解することができる		
2	【授業単元】 面談② 【到達目標】 クラス替え後の相互理解を深め、意見や方向性をすり合せし、コミュニケーションをとることができる			10	【授業単元】 業界研究④（アイリスト・ビューティアドバイザー） 【到達目標】 アイリスト・ビューティアドバイザーの求人情報の見方や福利厚生などを知り、 仕事内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる		
3	【授業単元】 業界研究①（ヘアメイク・ブライダル） 【到達目標】 ヘアメイクやブライダルヘアメイクの求人情報の見方や福利厚生などを知り、 仕事内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる			11	【授業単元】 業界研究④（アイリスト・ビューティアドバイザー） 振り返り 【到達目標】 業界研究①での情報をまとめ、 アイリストの将来像を理解することができる		
4	【授業単元】 業界研究①（ヘアメイク・ブライダル） 振り返り 【到達目標】 業界研究①での情報をまとめ、 ヘアメイクやブライダルヘアメイクの将来像を理解することができる			12	【授業単元】 コンテストの準備ができる 【到達目標】 コンテストテーマや創作したい作品をイメージし、ウィッグにカラーリングをすることができる コンテスト審査員の経歴を知り、仕事内容を想像することができる		
5	【授業単元】 業界研究②（セットサロン・フォトスタジオ） 【到達目標】 セットサロン・フォトスタジオの求人情報の見方や福利厚生などを知り、仕事 内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる			13	【授業単元】 面接練習① 【到達目標】 履歴書作成から自己PRや志望する想いを言葉や表情で表現することができる 面接の流れやマナーを知る事ができる		
6	【授業単元】 業界研究②（セットサロン・フォトスタジオ） 振り返り 【到達目標】 業界研究②での情報をまとめ、 セットサロン・フォトスタジオでのヘアメイクの将来像を理解することができる			14	【授業単元】 面接練習② 【到達目標】 面接練習①を振り返り、履歴書作成から自己PRや志望する想いを 言葉や表情で自然に表現することができる 面接の流れやマナーを理解する事ができる		
7	【授業単元】 中間テスト(20点) ヘアメイクの業種の理解 【到達目標】 ヘアメイク事務所・フリーヘアメイク・ブライダルヘアメイク・フォトスタジオ・セットサロンのヘアメイク仕事内容を理解し、働き方の違いや 業界について理解することができる			15	【授業単元】 定期試験（60点） 模擬面接 【到達目標】 自分の強みや志望動機をアピールできる話し方や受け答えができる ようになる 面接練習①②を元に、就職面接本番同様に模擬面接ができるようになる		
8	【授業単元】 業界研究③（サロン） 【到達目標】 サロンの求人情報の見方や福利厚生などを知り、仕事内容や具体的な将来 像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ビューティヘルスケア	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤 里海
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	集中授業
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、タッチアップにおいてのマナーや様々なブランドのメイクトレンドを理解し、現場対応が可能な技術を身に付ける。 ※ 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場で必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、様々なブランドのコンセプトや製品について理解する事により、お客様一人一人に合った提案力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業内容、ルール、テーブルセッティング確認、教材使用法、 【到達目標】 店頭において必要な、事前準備からタッチアップにおいての細かいマナーを理解する。メイクブランドをカテゴリ別にリサーチを行い、模写する。フェイスチャート練習。			9	【授業単元】 カウンセリングフルメイク② お悩み解決 【到達目標】 お客様の好きな所、嫌いな所を活かし、お悩みを解決するメイクの提案力を身に付け、フルメイクを実施する。		
2	【授業単元】 SSTトレンドメイクパターン① フェイスチャート練習 【到達目標】 今期トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。			10	【授業単元】 カウンセリングフルメイク③ テーマ別 【到達目標】 指定されたテーマに合わせて、お客様の条件に合ったメイクの提案力を身に付け、フルメイクを実施する。		
3	【授業単元】 SSTトレンドメイクパターン② フェイスチャート練習 【到達目標】 今期トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。			11	【授業単元】 カウンセリングフルメイク④ 指定アイテムの提案 【到達目標】 指定アイテムに特化し、お客様がお探しの製品+a 製品のご提案力を身に付け、フルメイクを実施する。		
4	【授業単元】 メイクブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成 【到達目標】 様々なメイクブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			12	【授業単元】 カウンセリングフルメイク⑤ まとめ 【到達目標】 お客様のカウンセリングを全て行い、お悩み解消やプラスのご提案をしながらフルメイクを実施する。		
5	【授業単元】 ラグジュアリーブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成 【到達目標】 様々なラグジュアリーブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			13	【授業単元】 自身の目指すブランドのリサーチ①イメージメイクの作成 【到達目標】 各自、自身の目指すブランドのリサーチを実施。コンセプト・スター製品を理解した上でカウンセリングを行い、お客様に似合わせたブランドイメージメイクを40分で実施する。		
6	【授業単元】 オーガニックブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成 【到達目標】 様々なオーガニックブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			14	【授業単元】 自身の目指すブランドのリサーチ②イメージメイクの作成 【到達目標】 各自、自身の目指すブランドのリサーチを実施。コンセプト・スター製品を理解した上でカウンセリングを行い、お客様に似合わせたブランドイメージメイクを40分で実施する。		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 今までにリサーチしたブランドのコンセプトや製品説明を行い、夏のトレンドメイクを40分で実施する。			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 各自化粧品ブランドをリサーチし、コンセプト・トレンド・スター製品の説明を行いつつ、モデルさんに似合わせたブランドイメージメイクを40分で実施する。		
8	【授業単元】 カウンセリングフルメイク① ニーズを引き出す 【到達目標】 カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを完成させる。フェイスチャートにてメイク提案を実施する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名	ヘアベーシックテクニック	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村好沙・貞包亜美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	集中
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
プロフェッショナルの技術を身につける為の基礎の技術を理論を習得し、応用力を引き上げる。 実際に現場で働く講師より、現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める。							
【授業を通じての到達目標】							
基礎となる教材を駆使し、クオリティーの高いスタイルをつくれるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ホットカーラーの特性と巻き方 【到達目標】 ホットカーラーの特性を理解し、全頭巻けるようになる。			9	【授業単元】 抱き合わせのスタイルを学ぶ 【到達目標】 すき毛の使い方を習得し、抱き合わせのスタイルを完成させられるようになる。		
2	【授業単元】 スタイルづくり 【到達目標】 ホットカーラーのカールを生かしたスタイルをつくれるようになる。			10	【授業単元】 すき毛の特性をより理解する 【到達目標】 すき毛を使用し、面を生かしたスタイルを完成させられるようになる。		
3	【授業単元】 ドライヤーによるブロー 【到達目標】 ドライヤーを使用し、ドライとブローの技術を習得する。			11	【授業単元】 カールアップ① 【到達目標】 面を生かしたカールアップスタイルをつくれるようになる。		
4	【授業単元】 ホットカーラーの色々な使い方を知る 【到達目標】 ホットカーラーとブローで仕込みを完成させられるようになる。			12	【授業単元】 カールアップ② 【到達目標】 カールをほぐしたカールアップスタイルをつくれるようになる。		
5	【授業単元】 逆毛の特性と種類を学ぶ 【到達目標】 逆毛の技術を習得し、スタイルに組み込めるようになる			13	【授業単元】 カールアップ③ 【到達目標】 ボリュームのあるカールアップをつくれるようになる。		
6	【授業単元】 逆毛を駆使する 【到達目標】 逆毛を立て、ボリュームのあるスタイルを完成させる			14	【授業単元】 総復習とテスト練習 【到達目標】 定期テスト練習し、今まで習得した技術を確認する。		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 1ー6回までの確認をする			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 習熟度をはかる。		
8	【授業単元】 抱き合わせのスタイルを学ぶ 【到達目標】 逆毛で抱き合わせのスタイルを完成させられるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ヘアメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 裕子
学科・コース	ヘアメイク科	授業形 態	実習	総時間 (単位)	120	開講区分 曜日・時間	水曜日、金曜日 1、2、3、4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッションショー、スチール、ブライダル等の仕事の実績を活かしクリエイティブなヘアメイクを意識したスタイルを習得しながら、基礎技術の向上を目指しクオリティーの高いヘアメイクができるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
年代別のファッションの歴史を知ることにより、現代の技術との関連性や、ヘアメイクのテストを習得する事ができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
スタイリング剤				ヘアメイクやファッションを中心のスクラップブックを作る			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			9	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 80年代のヘアを学ぶ事によりウェーブのバリエーションの技術を習得出来る		
2	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			10	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートを描く事で作成するヘアメイクデザインのイメージを具体化する事ができる		
3	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			11	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートのイメージを形にしながら、完成度を高めていく		
4	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			12	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 イメージ通りの作品をタイム内に完成する事ができる		
5	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			13	【授業単元】 コンテストフィードバック 【到達目標】 コンテストでの作品を再度見直す事により、更なる作成のクオリティーを上げる事ができる		
6	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			14	【授業単元】 中間テスト練習 【到達目標】 テストの内容を確認しながら練習する事により、テストの完成度を高める事ができる		
7	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事によりボヘミアンスタイルのテストを知 る事ができ、編み込みのバリエーションを習得出来る			15	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 テスト練習での内容を時間内に仕上げる		
8	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事により、ボヘミアンスタイルのテストを知る事が でき、編み込みのバリエーションを習得出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法			

科目名 (英)	ヘアメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤 里海 久保周平
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1, 2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
卒業前半年となり、現場でのオーダーに応えられるよう実践的な技術を習得する 特に(ファッションショー・雑誌の撮影・ビューティアドバイスなど幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
現場の要請に対応できるメイク技術を身につける 特に、テイスト別についての表現力を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 テイスト別メイク① 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			9	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の質感について)知る		
2	【授業単元】 テイスト別メイク② 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			10	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の色について)知る		
3	【授業単元】 テイスト別メイク③ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			11	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(ポイントメイクの形)知る		
4	【授業単元】 テイスト別メイク④ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			12	【授業単元】 テーマに対してメイクデザインをプランする 【到達目標】 テーマに対してどのようなデザインが効果的なのか知る		
5	【授業単元】 テイスト別メイク⑤ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			13	【授業単元】 まとめ 【到達目標】 1ー12回までの授業内容を復習し、確認する		
6	【授業単元】 テイスト別メイク⑥ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			14	【授業単元】 定期試験準備 【到達目標】 定期試験内容を知り、練習を行い、不明な点は確認し完成したものができるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】		
8	【授業単元】 ショーメイク 【到達目標】 ショー用のメイクの基本を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	舞台メイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長濱 智光
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、舞台等のリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも特に舞台・キャラクターに特化した授業を行う。 講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】 発汗に強いベース作り			9	【授業単元】 舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】 舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ ボディーアートを融合させる		
2	【授業単元】 ベース作り 【到達目標】 ベース作り～立体感・陰影作り			10	【授業単元】 舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】 舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ ボディーアートを融合させ仕上げる		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) ベース作り 【到達目標】 ベース作り～完成まで			11	【授業単元】 舞台メイク応用 【到達目標】 舞台メイクを応用させ、実践する		
4	【授業単元】 ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】 ポイントメイクの基礎をおさえる			12	【授業単元】 キャラクターメイク 【到達目標】 キャラクターメイクに特化して学ぶ		
5	【授業単元】 ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】 ポイントメイクの基礎を実践する			13	【授業単元】 作品づくり 【到達目標】 定期試験に向けての作品作り		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) 舞台映えメイク 【到達目標】 全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成			14	【授業単元】 作品づくりⅡ 【到達目標】 定期試験に向けての作品作り		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 相モデルで時間内に完成させる			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 舞台メイク応用で学んで技術を生かし ボディーアートを取り入れ、作品を仕上げる		
8	【授業単元】 ボディペインティング 【到達目標】 ボディペインティング教材基礎知識 ボディアート実技			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチールヘアメイク	必修選 択	必修	年次	2	担当教員	東村 忠明
		授業形 態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践現場で活用していくかを学びます。 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。 講師経歴：美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。 自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘアー、メイクビジュアルをまとめ、同時に様々なカルチャーや素材、質感など自分の好みを見つけフォルダリングしていく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			9	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク B 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。		
2	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			10	【授業単元】 スタジオワークA 【到達目標】 個人用作品の充実を図る。		
3	【授業単元】 イメージヘアメイク① A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコヤ肌の質感を表現出来るようにする。			11	【授業単元】 スタジオワークB 【到達目標】 個人作品の充実を図る。		
4	【授業単元】 イメージヘアメイク① B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコヤ肌の質感を表現出来るようにする。			12	【授業単元】 ファッションヘアメイク A 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
5	【授業単元】 イメージヘアメイク② A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコヤ肌の質感を表現出来るようにする。			13	【授業単元】 ファッションヘアメイク B 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
6	【授業単元】 イメージヘアメイク② B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコヤ肌の質感を表現出来るようにする。			14	【授業単元】 テスト練習 AB合同 【到達目標】 ムードボードを作成しプレゼンができる様にする。 テストに向けた事前リハを行い完成度を高める。		
7	【授業単元】 中間テスト ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。			15	【授業単元】 定期試験 AB合同 【到達目標】 テーマに合わせ、ヘアメイクを総合的に見る。		
8	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク A 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチールヘアメイク	必修選 択	必修	年次	2	担当教員	東村 忠明
	学科・コース	ヘアメイク科	授業形 態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践現場で活用していくかを学びます。 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。 講師経歴：美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。 自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(Pinterest等)を利用し、ジャンル別にヘアー、メイクビジュアルをまとめ、同時に様々なカルチャーや素材、質感など自分の好みを見つけフォルダリングしていく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションⅡ A 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			9	【授業単元】 クリエイティブヘアメイクⅡ B 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。		
2	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションⅡ B 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			10	【授業単元】 スタジオワークⅡ A 【到達目標】 個人用作品の充実を図る。		
3	【授業単元】 イメージヘアメイク①Ⅱ A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			11	【授業単元】 スタジオワークⅡ B 【到達目標】 個人作品の充実を図る。		
4	【授業単元】 イメージヘアメイク①Ⅱ B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			12	【授業単元】 ファッションヘアメイクⅡ A 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
5	【授業単元】 イメージヘアメイク②Ⅱ A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			13	【授業単元】 ファッションヘアメイクⅡ B 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
6	【授業単元】 イメージヘアメイク②Ⅱ B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			14	【授業単元】 テスト練習 AB合同 【到達目標】 ムードボードを作成しプレゼンができる様にする。 テストに向けた事前リハを行い完成度を高める。		
7	【授業単元】 中間テスト ビジュアルコピーヘアメイクⅡ AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。			15	【授業単元】 定期試験 AB合同 【到達目標】 テーマに合わせ、ヘアメイクを総合的に見る。		
8	【授業単元】 クリエイティブヘアメイクⅡ A 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッションコーディネート	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務や撮影業務に携わる。その中でファッションやコーディネートについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドをとり入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業概要理解 【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する 授業概要を理解する			9	【授業単元】 黒い服と白い服② 【到達目標】 バランスをとる方法		
2	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			10	【授業単元】 素材や機能性の知識を得る。 【到達目標】 ストリートを考えに入れたセレクト方法を理解する		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) 自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			11	【授業単元】 ファッションマップを作成する① 【到達目標】 フェミニン(大人のエレガンス)、グリッター(キラキラ)、ファニー(奇妙な調和)をマップにおとしこむ。		
4	【授業単元】 帽子的正しいかぶり方 【到達目標】 ・帽子の種類(由来やかぶり方)			12	【授業単元】 ファッションマップを作成する② 【到達目標】 フェミニン(大人のエレガンス)、グリッター(キラキラ)、ファニー(奇妙な調和)をマップにおとしこむ。		
5	【授業単元】 クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】 シルエットを考察し、着方を発見する。			13	【授業単元】 4種のトレンドをまとめ、マップを作成する① 【到達目標】 意外性のある組あわせ、カラフル、大人モード、リズム感のあるトレンド		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) 新しい考え方のポイントを知る。 【到達目標】 ストリートファッション ユニバーサルデザインとは？ 新素材や形の扱い方			14	【授業単元】 4種のトレンドをまとめ、マップを作成する② 【到達目標】 意外性のある組あわせ、カラフル、大人モード、リズム感のあるトレンド		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 実技:ネクタイを結ぶ。コーディネート(課題は当日)			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 4種のトレンドマップを提出する。		
8	【授業単元】 黒い服と白い服① 【到達目標】 バランスをとる方法			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	特殊メイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長濱 智光
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集から言われるリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも特に特殊メイクに特化した授業を行う。 講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】 ・キズ、アザの基本・色・位置等 ・古傷の作成			9	【授業単元】 リクエストヘアメイクA 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
2	【授業単元】 特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】 ・古傷の作製 完成まで ・火傷等			10	【授業単元】 リクエストヘアメイクA 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) 特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】 ・パター等を使用した立体的な傷			11	【授業単元】 リクエストヘアメイクB 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
4	【授業単元】 ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ			12	【授業単元】 リクエストヘアメイクB 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
5	【授業単元】 ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ			13	【授業単元】 リクエストヘアメイクC 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】 イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。			14	【授業単元】 1～13回目までの授業の振り返り授業 【到達目標】 ・1～13回目までの授業の振り返りを行い、理解をより高めることができる		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 血のり等を使用し手早くリアルなキズを作る			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 ウィッグで特殊メイクを仕上げる		
8	【授業単元】 イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】 イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大井 弓子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜 1・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクになるために技術の向上・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける (ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 復習①(ホットカーラー・夜会・タボアップ) 【到達目標】 1年時の技術を復習する ネープ部分のアレンジの違いを理解し作成する			9	【授業単元】 今どきスタイル 【到達目標】 ギブソンタック・ハーフアップ・ダウンスタイルの技術を習得・作成する		
2	【授業単元】 復習②(ロール・シニヨン・面カール) 【到達目標】 1年時の技術を復習する 髷部分のアレンジの違いを理解し作成する			10	【授業単元】 ブロー 【到達目標】 セットブロー・メンズヘアブローの技術を習得・作成する		
3	【授業単元】 ヘッドパーツ作り①(チュール) 【到達目標】 チュールのヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習得する			11	【授業単元】 コンテスト作品試作 【到達目標】 コンテストに向けて作品の方向性を決めて試作を作成する		
4	【授業単元】 ヘッドパーツ作り②(造花) 【到達目標】 造花のヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習得する			12	【授業単元】 コンテスト作品練習 【到達目標】 コンテスト作品を規定時間内に作成する		
5	【授業単元】 撮影試作 【到達目標】 5/28の撮影に向けて作品の方向性を決めて試作を作成する			13	【授業単元】 浴衣 【到達目標】 浴衣に合うヘアメイクを考え、着付けまでのトータルバランスを習得する		
6	【授業単元】 撮影 【到達目標】 これまでの授業で作成したヘッドパーツを使用し、作品撮りをする			14	【授業単元】 スチール撮影作品試作 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品の方向性を決めて試作を作成する		
7	【授業単元】 復習③ 【到達目標】 基礎技術を思い出しヘアスタイルをアレンジ作成する			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 スチール撮影作品をを規定時間内に作成する		
8	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 指定されたドレスに対し、ヘア(面スタイル)・メイクを考え時間内に作成する(90分)			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	コレクションメイク	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	集中講座
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数ある化粧品の特徴を知り、知識を身につける事でお客様一人一人のニーズに合わせたメイクアップの提案が出来るようになる。また、コレクション(卒業制作)に向けたメイクができるようになる。 ※□外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
数ある化粧品の特徴を知り、知識を身につける事でお客様一人一人のニーズに合わせたメイクアップを提案する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 肌タイプ別スキンケアについて 【到達目標】 肌タイプ別スキンケアの知識を身につけ、カウンセリングを行いながらお客様に合うスキンケア法の提案力を修得する			9	【授業単元】 テーマ別メイク 【到達目標】 指定されたテーマや年代に合わせて、お客様の条件に合ったメイクの提案力を修得する		
2	【授業単元】 ベースメイクについて 【到達目標】 ベースメイクの作り込みについて知識を身につけ、ポイントメイクに必要なブラシの使い方、動かし方などを修得する			10	【授業単元】 指定アイテム+α 製品のご提案力 【到達目標】 指定アイテムに特化し、お客様がお探しの製品+α 製品の提案力を身につける		
3	【授業単元】 アイメイクについて 【到達目標】 アイメイクに特化した化粧品の特徴を知り、質感・色・形・種類など様々な知識や技術を身につけ、お客様に似合うアイメイクが出来るようになる			11	【授業単元】 卒業制作へ向けて① 【到達目標】 卒業制作スチール撮影に向けてデザイン作成。フェイスチャートへデザインを作成し、コンセプト作成。各自相モデルにて練習を実施する。		
4	【授業単元】 カウンセリングフルメイク 【到達目標】 お客様の肌タイプや、好みなどのカウンセリングを行い、お客様のニーズを引き出したフルメイクを完成させる			12	【授業単元】 卒業制作へ向けて② 【到達目標】 卒業制作スチール撮影に向けてモデル、コンセプト最終決定。各自相モデルにて練習を実施する。		
5	【授業単元】 40分カウンセリングフルメイク 【到達目標】 カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出し、40分でフルメイクを完成させる			13	【授業単元】 卒業制作へ向けて③ 【到達目標】 卒業制作スチール撮影に向けてフェイスチャートの正書を行い、メイクプレゼン文章も共に作成する。各自相モデルにて練習を実施する。		
6	【授業単元】 中間テスト練習:40分カウンセリングフルメイク 【到達目標】 カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出し、40分でフルメイクを完成させる			14	【授業単元】 卒業制作へ向けて④ 【到達目標】 卒業制作スチール撮影に向けて最終確認を行い、ヘアメイク、構成、タイムスケジュール等の構成確認。各自相モデルにて練習を実施する		
7	【授業単元】 40分カウンセリング似合わせフルメイク 【到達目標】 中間テスト:カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを40分で完成させる			15	【授業単元】 卒業制作:スチール撮影 【到達目標】 定期テスト:卒業制作用スチール撮影を実施する。作品の完成。		
8	【授業単元】 お悩み解決メイク 【到達目標】 お客様の好きな所、嫌いな所を活かし、お悩みを解決するメイクの提案方法を修得する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術講習会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤 里海 久保周平
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1, 2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
卒業前半年となり、現場でのオーダーに応えられるよう実践的な技術を習得する 特に(ファッションショー・雑誌の撮影・ビューティアドバイスなど幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
現場の要請に対応できるメイク技術を身につける 特に、テイスト別についての表現力を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 テイスト別メイク① 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			9	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の質感について)知る		
2	【授業単元】 テイスト別メイク② 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			10	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の色について)知る		
3	【授業単元】 テイスト別メイク③ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			11	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(ポイントメイクの形)知る		
4	【授業単元】 テイスト別メイク④ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			12	【授業単元】 テーマに対してメイクデザインをプランする 【到達目標】 テーマに対してどのようなデザインが効果的なのか知る		
5	【授業単元】 テイスト別メイク⑤ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			13	【授業単元】 まとめ 【到達目標】 1ー12回までの授業内容を復習し、確認する		
6	【授業単元】 テイスト別メイク⑥ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			14	【授業単元】 定期試験準備 【到達目標】 定期試験内容を知り、練習を行い、不明な点は確認し完成したものができるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】		
8	【授業単元】 ショーメイク 【到達目標】 ショー用のメイクの基本を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	学内コンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次及び2年次前期の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
・モデルを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】 ・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に、必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する			9	11～15回 【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基に、モデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う 【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術交換会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤里海、久保周平
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につけお互いに教えあう。＊(化粧品系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤、久保)							
【授業を通じての到達目標】							
様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来る用になる。							
【使用教科書・教材】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 テイスト別メイク① 【到達目標】 骨筋を理解し、ヌードカラーのみで骨格を捉える技術を修得する。			9	【授業単元】 ジャンル別ショー用メイク② 【到達目標】 各ジャンルをかけた合わせたショー用メイクを実施する		
2	【授業単元】 テイスト別メイク② 【到達目標】 発色の良いカラーを使用し、発色・質感共に使い分けの技術を修得する。			10	【授業単元】 テーマ別ショー用メイク① 【到達目標】 テーマに合わせたショー用メイクを実施する。		
3	【授業単元】 テイスト別メイク③ 【到達目標】 2019AWのメイクトレンドを知り、トレンドに沿ったランウェイメイクを修得する。			11	【授業単元】 テーマ別ショー用メイク② 【到達目標】 テーマに合わせたショー用メイクを実施する。		
4	【授業単元】 テイスト別メイク③ 【到達目標】 和装に必要なメイク知識、技術をおさらいし、応用を加えた和装メイクを実施する。			12	【授業単元】 イメージ別ショー用メイク① 【到達目標】 様々なアーティストや映画よりインスパイアされたショー用メイクを実施する。		
5	【授業単元】 テイスト別メイク④ 【到達目標】 アイブロウ、アイライナー、リップ、チーク等のポイントに特化した応用技術を修得する。			13	【授業単元】 イメージ別ショー用メイク② 【到達目標】 様々なアーティストや映画よりインスパイアされたショー用メイクを実施する。		
6	【授業単元】 中間テスト練習 【到達目標】 今まで修得した技術を組み合わせたルックを各自完成させる。			14	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 様々なテーマやイメージよりインスパイアされたメイクルックを完成させる。		
7	【授業単元】 40分フルメイク 【到達目標】 中間テスト:今まで修得した技術を組み合わせたルックを各自完成させる。			15	【授業単元】 50分フルメイク 【到達目標】 定期テスト:様々なテーマやイメージよりインスパイアされたメイクルックを完成させる。		
8	【授業単元】 ジャンル別ショー用メイク① 【到達目標】 各ジャンルをかけた合わせたショー用メイクを実施する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学んだことを活かし、現場でヘアアレンジや基礎的なメイクを実践する							
【授業を通じての到達目標】							
・イベント出演者に対しヘアアレンジやメイクが実践できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ヘアメイク及びアシスタントの理解 【到達目標】 ・ヘアメイクのアシスタントの動きを理解する ・各現場でのヘアメイクの業務内容を理解する ・現場でのヘアメイク以外のスタッフについて理解する ・基礎的なヘアアレンジやメイクを実践できるようになる			9	11～15回 【授業単元】 現場実践 【到達目標】 ・ゲストに対し、基本的なヘアアレンジとメイクが実践できる ・実践を振り返り、自己の課題を明確にする ・現場が求めるヘアメイクを理解し、そこに近づけるよう努力する 【評価】 振り返りシート及び指導者の評価により、100点満点にて評価をする		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							10
				11			
				12			
				13			
				14			
				15			
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学んだことを活かし、現場でヘアアレンジや求められるメイクを実践する							
【授業を通じての到達目標】							
・イベント出演者に対しヘアアレンジやメイクが実践できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 前期振り返り 【到達目標】 ・前期実施した内容を振り返り、自己の課題を明確にする ・課題に基づき、相モデルにてヘアアレンジ・メイクを実践する ・顧客を想定し、シュミレーションを実施する			9	11～15回 【授業単元】 現場実践 【到達目標】 ・ゲストに対し、求めるヘアアレンジとメイクが実践できる ・実践を振り返り、自己の課題を明確にする ・現場が求めるヘアメイクを理解し、そこに近づけるよう努力する 【評価】 振り返りシート及び指導者の評価により、100点満点にて評価をする		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】			●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				